

NO.159 2013/1

kaihou ISHIKAWA

土地家屋調査士



ごあいさつ
法務大臣表彰を受賞して
東日本大震災報告会
本会だより
新入会員に聞く
支部だより



石川県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で、
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目 次

新年のごあいさつ	1
----------------	---

石川県土地家屋調査士会 会長 村谷 正己

新年のごあいさつ	2
----------------	---

金沢地方法務局 局長 伊藤 洋一

新年のごあいさつ	3
----------------	---

石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 理事長 山田 豊

2013年の幕開け	3
-----------------	---

日本土地家屋調査士会連合会 理事 石野 芳治

法務大臣表彰を受賞して	5
-------------------	---

小松支部 会員 浅井 宏一郎

写 真 説 明

①タイトル：「電車大好き!」

②モデルの名前：北林 仁康 (ひとやす)

③誕生日：平成21年11月13日

④一言：電車やバス、車のおもちゃで遊ぶことが大好きな3歳の息子です。

休日になるたびにJR氷見線の「忍者ハットリくんの電車見たい」と言います。
名前の「仁」の字の意味でもある、仲間を大事にする人に成長してほしいです。

七尾支部 北林かおり

東日本大震災報告会『被災地からの発信』と 宮城県内被災地視察	6
---	---

金沢支部 会員 藤島 信一郎

本会だより

平成24年度 第56回 定時総会開催	9
平成24年度 第29回 中部ブロック協議会 親睦ゴルフ愛知大会	9
平成24年度 中部ブロック協議会 定時総会報告	10
結婚報告	11
新入会員に聞く（7項目の質問）	12

支部だより

金沢支部	14
小松支部	16
七尾支部	16
輪島支部	17
会員の広場／クロスワードパズル	18
information・事務局	19



新年のごあいさつ

石川県土地家屋調査士会

会長 村谷 正己

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

本年が石川県土地家屋調査士会会員並びに関係各位にとって実り多い豊かな一年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

昨年は、ロンドンオリンピックにおいて石川県の選手を含む日本人選手が大いに活躍しましたし、京都大学の山中教授がノーベル医学生理学賞を受賞するという明るい話題がありました。一方で、欧州金融問題や円高の長期化などから景気の低迷感が強く印象に残った年でもありました。12月の衆議院議員総選挙で政権交代を経て、今年は新たな政権により力強く成長戦略が推進され、日本経済が活性化することを期待しています。

さて、土地家屋調査士の活動を広く一般にアピールする広報活動の一環として、一昨年から始めた小学校での出前講座「地上絵プロジェクト」は、皆さんのお力添えにより昨年も9月14日(珠洲飯田小)、10月16日(金沢市金石町小)の2回にわたり開催することができました。授業での測量体験を通して、我々の仕事を生徒や親御さんに知ってもらいたいという思いが通じたのか、後日金石町小学校から6年生の生徒さん達全員の心のこもったメッセージをいただき感動いたしました。地道な活動ですが、今後も継続していきたいと考えております。

また、今年の3月には東日本大震災から2年を迎えますが、被災地の復旧・復興はあまり進んでいません。昨年12月15日に仙台国際センターで開催された「東日本大震災報告会」に石川会からは会員希望者12名で出席いたしました。

最初に岩手会、宮城会、福島会各会の会長さんが全国の土地家屋調査士から戴いた多くの支援に対する感謝の気持ちを述べられ、続いて各会会員の個人的な被災体験を聞き目頭が熱くなりました。翌16日には宮城県内の被災地を視察いたしました。山手の擁壁が崩れ地表面が不等移動して道路が大きくずれた地区や、一部建物の基礎を残してすべて失われた住宅地を目の当たりにして言葉を失いました。まだまだ被災地の復興には長い年月が必要とは思いますが、今後も忘れずに応援していきたいと思います。

昨年末、法務局の平成24年度土地家屋調査士試験合格者伝達式に出席して5名の合格者に対する祝辞を述べる機会がありました。そこで「皆さんは“プロテストに合格した”ということであって、“プロで食べていける”と言われたわけでは無いことを自覚して下さい。」そして「我々土地家屋調査士は不動産の表示にかかる国民の権利の明確化に寄与するという大きな目的をもった専門資格者集団です。」と申しました。改めて私たちは、資格者であることを自覚し、互いに知識と技術を研鑽してさらなる信頼を得るよう、一步ずつ前進いたしましょう。

最後になりましたが、本会会員並びに関係各位に、引き続きご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ

金沢地方法務局

局長 伊藤 洋一

石川県土地家屋調査士会会員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げますとともに、表示登記制度の適正、円滑な運営について、日頃から格別の御支援御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、年末に行われた衆議院総選挙では、自民党が大勝しましたが、過去数回の衆議院選における大勝が、必ずしも安定したものとなっていませんでしたので、本年は、与野党が今まで以上に民意を反映する本格的な政治に取り組む年になるものと期待しているところです。

ところで、登記所備付地図作成作業は、七尾市で3年間実施いたしました。皆様方の御協力に支えられ、また地域住民や地元自治体から積極的な協力を得て実施することができました。七尾市ではこの経験を活かし、地籍調査事業を推進すると伺っておりますが、この作業が地籍調査への関心が醸成される端緒となったことは大変うれしいことです。本年は能美市で行う予定となっておりますが、地図作成を効率的かつ計画的に行うためには、皆様方の御協力は欠かせないものと考えておりますので、地図整備の重要性を御理解いただき、引き続き御協力をお願いいたします。

また、筆界特定制度につきましては、運用開始から間もなく7年になろうとしていますが、当局では現在までに180件（手続）が申請され、142件（手続）が終了しており、この制度が徐々にではありますが国民の皆様に着している様子が伺えますし、法務局としても適正な事件処理を行うことにより、境界紛争解決手段として更に充実した制度になるものと考えております。皆様方には、今後も筆界調査委員あるいは申請代理人として、この制度に積極的な取り組みをお願いいたします。

当局では、昨年、地図や各種図面が交換サービスにより取得できるようになりましたし、オンライン申請の利用率も、全国でも1、2位を争う状況となっておりますが、これは皆様方と一緒に頑張って取り組んだことが結実したものと考えています。今後も、職員が一丸となって各種施策等に取り組む、着実に成果が表れるよう努力いたしますので、引き続き御協力と御支援をお願いいたします。

最後に、石川県土地家屋調査士会の御発展と、会員の皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会
理事長 山田 豊

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当協会の運営に多大なご協力を頂き誠にありがとうございます。平成24年10月24日付けで石川県公益認定等審議会より石川県知事あてに「当協会は公益社団法人の認定基準に適合すると認めるのが相当である」との答申が出ました。これにより、本年3月末に石川県知事より公益認定をいただき、4月1日に新公益社団法人として登記申請する予定をしています。公益移行についてはある一定の目途がつけましたが、新公益法人にあった諸規則の見直しや会務運営の確立が今年一年の課題だと考えています。

業務関係では、嘱託用の新調査報告書や本人確認等、法務局が嘱託者側にもとめる情報が増え審査が厳しくなっていく中で、官公署が当協会に業務発注する事件が増えるものと予想されます。当協会としては発注者、担当者及び社員に対して研修会等を通して意志統一、技術向上を行い対応していく必要があると考えています。

最後になりましたが、今年一年皆様のさらなるご発展、ご健勝を祈願しまして新年のごあいさつとさせていただきます。



2013年の幕開け

日本土地家屋調査士会連合会
理事 石野 芳治

2013年を迎えるにあたり年頭のごあいさつの場をいただきまして光栄に存じあげます。旧年中も連合会々務に対しまして皆様方のご理解・ご協力を賜りまして誠に感謝しております。まだ半年残っておりますが、おかげさまで連合会理事の任期をなんとか終えようとしております。

昨年一年間を振り返ってみますと、それまでの急務であった震災対応といった会務が収束していき（決して終了したわけではありませんが）、そのためによけていた膨大な会務が次から次へと舞い込んできたようにも感じておりました。

また、私の所属する社会事業部は地図作成やADR、さらには公嘱登記関連といった中長期的というより半永続性の高い部門を抱えており、自分の中ではずっと動いてはいるもののあまり成

果が上がっていないのでは、と感じている点多々ありました。しかしながら結果が出るのはもっと先であることはわかっていながらどこかもどかしい気持ちを持ちつつも、時には粛々とまた時には熱く会務執行をしてきたつもりであります。

そして新しい年を迎えたわけですが、私自身はこれまでと同じようにしていきたいと思ってはいましたが、残念ながら私が望んでも世の中がそうさせてはくれません。

有無をいわず世の中はすごいスピードで変化していっています。これは否定できない事実です。こうした変化の速い世界にいる私たちにとって立ち止まることは後退を意味します。ここはやはり皆様と共にこの重い腰を上げ前へ前へと進んでいかなくてはなりません。

新しいものを創造していくためには古いものを壊さなくてはならないこともあります。古いものを大事にしすぎて使えなくなって捨てられることになっては元も子もありません。確かにホントに捨ててはいけないものも必ずあります。しかし、よくよく考えてみるといらないものばかりのような気がします。

このあたりで、すこし周りを見てみましょう。外の世界を見てみましょう。

今私たちが動かなくていったい誰が動いてくれるのでしょうか。いつまでもじっとしていても誰も助けてはくれません。なぜなら我々が誰かを（国民を）手助けする立場にあるのですから。そんな助けが必要な資格者は必ず淘汰されます。みんな資格者よりも国家・国民が大事ですからね。

私もそんな偉そうなことは言えませんが、年に一回くらい自分を客観視してみましょう。今一度、国家資格者として土地家屋調査士として自分を見つめなおしてみてください。そこで本当に必要なもの、今必要なもの、この先必要になると思われるものを探してみませんか。そうすることが今一番我々に必要なのではないかと思います。

また私事ではございますが、今年は土地家屋調査士に登録してから一回り（丸12年）経ちました。しかもちょうど40歳になります。いろいろあったもののなんとか廃業せずここまでやってこれました。これは土地家屋調査士制度が先人たちの努力によってここまで築き上げられたおかげであることは間違いありません。しかしながら、いつまでも先人のお世話になってばかりいるわけにもいきません。これから先はやはり我々の世代が「新たな」土地家屋調査士制度を築き上げるべく前へ進まなくてはなりません。

今年はへび年です。我々もこれまでの重苦しい古い皮を脱ぎ、新しい世界に向けて進んでいきましょう！2013年の幕開けが我々にとって良い転機であったと思えるような素晴らしい瞬間になりますようお願いを込めて。

法務大臣表彰を受賞して



小松支部 浅井 宏一郎



登記所に行くと、地図と建物所在図があり、建物の新築後、一か月以内に表題登記を申請しないと過料の制裁がある。土地家屋調査士開業第1号受託事件の登記所調査に出かけた時の自分の頭の中である。閲覧申請で登記官に笑われ、地図はない、公図なら在る、公図ってなんや?・・・公図は公図や?・・・全くの不可解から始まった調査士人生である。大困殺の末、ようやく申請書提出に至って、検査済証の日から一か月をわずかに超えての申請だったので、過料制裁を堪忍して貰えないかと相談を持ちかけてまた笑われた。

35歳で開業、以来30年。境界に対する無知と疑問だらけの日々であったにも拘らず、無事、大ケガもしないで今日を迎えられたのは、失敗も多々あったが自分の周囲の方々の恩恵の賜物であると思ひ至る。疑問は解決したものもあるが、大半は現在もそのままである。根本的な問題「調査士とは何ぞや?」という疑問も解決していない。このような状況の中で、日々の業務を遂行していくためには、我々調査士がそれぞれの地域に根差し、つきあい、近隣の同業者、調査士会と意見交換、情報交換し、ひとりひとりが「調査士とは何ぞや?」という疑問を解決していく努力が求められるのではないだろうか?

昭和59年安宅町で調査をしていた時に、安宅町内会が保管する町内図面に遭遇した。後に更正図と判明するが、いくつかの事件の調査に際して、町内会、図書館、市町村役場から出てくる更正図の全容解明には、20数年の悪戦苦闘（仮説づくり、検討、解析、研究等）を必要とした。地籍制度創設にかかわった先人の知恵に驚くとともに、この制度をいかに継承してゆくか、我々調査士が研究、提案していかなければならないと思う。中でも、特筆すべきは、地籍制度創設時、各大字にいた地籍編成委員である。明治22年この地籍編成委員の責任のもとに、境界が決められ、これに基づき土地台帳、地籍地図が作成され編成された地籍、これが地籍制度の本体であり、所謂筆界である。

地籍が編成されてから120数年の月日がたち、この地籍編成委員が維持管理してきた地籍が、崩壊しつつある。当時の地籍編成委員は、これを数十年にわたり管理してきたと思われるが、今は死に絶え制度的後継ぎがなく、管理する者のいない状況である。生産組合は、地籍編成委員の制度的後継者ではない。亡き地籍編成委員の代わりに、調査士がこれを継承し、維持管理していく必要があると思っている。この維持管理を考えると、通常の維持管理と、崩壊し破綻している部分の補修管理の二方面から考えなければならないが、調査士会の支部において地域の慣習の醸成に努めつつ、地籍編集委員の制度的後継者をめざし、境界のプロたる地力をつけていく努力が求められる。

とりとめのない話に終始してしまったが、思わぬ大臣表彰を受賞して、体に衰えを感じる今日この頃、夢が荒野を駆け廻ってしまいました。ありがとうございました。



東日本大震災報告会『被災地からの発信』と 宮城県内被災地視察



金沢支部 藤島 信一郎

平成24年12月15日(土)～16日(日)に「土地家屋調査士による東日本大震災報告会『被災地からの発信』と宮城県内被災地視察」に参加してきました。東日本大震災報告会は、宮城県・福島県・岩手県の土地家屋調査士会が、震災時に全国の多くの土地家屋調査士からの支援のお礼も兼ねて、東北ブロック協議会の後援で企画された報告会です。

北陸からは、石川・富山・福井の3県の土地家屋調査士会が合同で参加してきました。石川会からの参加者は、12名です。以下、その様子です。

■15日(土曜日)

▶4:50 北陸自動車道(徳光PA)出発

参加者の皆さん、眠い目をこすりながら、誰も遅刻せず、集合！

ここから約8時間、バスでの長旅が始まりました。バス乗車後、再度眠りにつく者、ワイワイお酒を飲む者がいました。

▶12:30 東北自動車道(仙台宮城IC)降りる

▶12:50 報告会会場『仙台国際センター』に到着

PM1:00に報告会が開始だったので、ぎりぎりの到着でした。

▶13:00 東日本大震災報告会『被災地からの発信』の始まりです。

はじめに、宮城会鈴木会長(実行委員長)、福島会五十嵐会長、岩手会菅原会長の挨拶から始まりました。報告会は3部構成でした。

第1部 被災体験を聞く

6名の会員の個人的な被災体験を伝えてもらいました。福島については、今も現在進行形の被災中であり、復旧の入口にすら立っていないことに、とても気の毒な状況だと再認識しました。

第2部 土地家屋調査士と震災業務

土地家屋調査士が取り組む震災復興業務の説明を受けました。個人的には、第2部にとっても興味があったのですが、時間の都合でかなり駆け足の説明でした。

第3部 震災と土地家屋調査士(まとめ)

早稲田大学大学院法務研究科 山野目章夫 教授

第1部から第2部の発表内容について、山野目先生がコメントしながら法的に整理して説明してくださいました。朝からの移動で眠気が来る時間帯でしたが、先生の話に取り込まれ、あっという間の時間でした。

また、報告会の最中に起きた地震には、会場がざわつきました。PM1:27震源は福島県沖でM5.3、震度3の地震です。私は思わず横にいた能登さんと顔を見合わせました。ただ、驚いていたのは、震災の影響を受けていない遠方の参加者だけだったのかもしれませんが。震災経験者は、震度3程度の地震には慣れてしまって驚かないようです。

▶18:30 懇親会

約2時間の懇親会に参加しました。

その後、夜の繁華街へ視察…。仙台市内の繁華街はすごくたくさんの人でにぎわっており、後で地元の人に聞いたのですが、街の中は復興バブルで凄く活気づいているようです。繁華街では不動産の震災の影響が、わからないほどに復興していました。

■16日（日曜日）

▶9:00 ホテル出発

宮城会の三浦副会長がバスに乗車してくれて、被災地4ヶ所を案内してくれました。

折立団地

この団地は、東側と西側で大きく被害状況が異なり、東側一帯において地盤の移動が生じ、地盤ごと家が本来道路となっていたところにはみ出したり、また地盤に段差が生じて、崩落したため住宅が傾いたりしていました。現在でも、復興されず手が付けられていない建物もありました。この団地についての分筆などの登記申請は、現在受け付けていないそうです。ただ、その中でも擁壁を作り直し、新築されている建物もあり、どのように敷地を確定させたのか興味があるところです。

宮城野区蒲生

震災当時は津波による倒壊家屋のガレキの山だったそうです。それを取り除くと、写真のとおり、遠くまで見渡せる原っぱの様でした。もともとは住宅地です。



折立団地



宮城野区蒲生

視察中にたまたま地元の被災者から手記を頂くことが出来ました（調査士会に置いてあります）。その方は、親族2人が津波で亡くなったそうです。

宮城野区荒浜

写真は、テレビでもよく放映されていた、荒浜小学校の視察時の様子です。



宮城野区荒浜

キリンビール仙台工場

キリンビール工場の見学・視察です。

この工場は、3 mほど盛土した上に建設されているそうですが、津波は1階の床から1 m前後まで到達したそうです。

当時、従業員は事務棟の屋上に避難したそうです。

最後に、今回の視察で、地元の調査士以外の方とも話をする機会がありました。その方たちはみんな暗い顔なんてしていなくて、笑顔でいきいきしているように感じました。東北の復興はまだまだ始まったばかりです。私が復興に協力できる事はあまりないですが、機会があれば、また仙台に行って、視察した地域を見て回りたいと思います。

今回の東日本大震災報告会と宮城県内被災地視察で頂いた資料、写真をしばらくの間、調査士会に置いておきます。興味のある方は、ご覧になってください。またその資料はPDFにしています。資料の欲しい方は藤島まで連絡いただければメールでお送りします。



平成24年度

本会だより



第56回 定時総会開催

平成24年5月25日(金) ホテル日航金沢にて定時総会が開催されました。

総会には74名の会員出席と、金沢地方法務局長伊藤洋一様をはじめとする御来賓の皆様に出席いただき盛大に開催されました。

村谷会長のあいさつに続き、新入会員の森田良雄会員、村中千鶴子会員の紹介があり、その後議長に高宮秀文会員、副議長に南知伸会員が選出され議事が進行されました。

報告事項では、石野芳治日調連理事より連合会報告があり、各部長より平成23年度事業経過報告がされました。

審議事項では、第1号議案から第5号議案まで全議案可決承認され、質疑応答では活発な議論がなされ議事は終了しました。

式典では、顕彰として金沢地方法務局長表彰を千野原実会員、吉村和正会員、西川義忠会員、日調連会長表彰を高平原渡会員、村谷正己会員、感謝状を大星正嗣会員、小林彦幸会員、石川会会長表彰を加藤良一会員がそれぞれ受賞されました。表彰を受けられた皆様おめでとうございます。最後に金沢地方法務局長をはじめとする御来賓の方々よりご祝辞をいただき無事に閉会しました。



平成24年度・第29回

中部ブロック協議会

親睦ゴルフ愛知大会

平成24年10月14日(日)、15日(月)に愛知県岡崎市のザ・トラディションゴルフクラブにおいて表記のゴルフ大会が開催され、前夜祭に63名、大会には86名の会員が参加しました。石川会は前回3位に泣きましたが、意気込んで臨んだ今回は見事団体優勝。更には舘俊郎会員が個人優勝とタイトルを総なめすることが出来ました。

ザ・トラディションゴルフクラブは帝王と称されるジャック・ニクラウス氏が設計した伝統のあるゴルフ場であり、自然の地形を活かしたとてもきれいで面白いコースでした。前夜祭、競技終了後には表彰式とパーティーも行われ、無事、盛大に終了することができ、他県の調査士の方々とも親交を深められたことと思います。

さて次回は富山県射水市の小杉カントリークラブでの開催となります。今回同様、優勝できますよう、グリーン会のメンバー以外でゴルフをされる方も、是非参加して頂いて他会の会員との交流を広げていただきたいと思います。また、グリーン会も年3回開催しておりますので、これまでゴルフをしたことが無い方も是非ゴルフを始めて頂いて、グリーン会に参加してくだされと、より一層盛り上がっていきますのでよろしくお願い致します。

本会だより

平成24年度

富山県土木会

中部ブロック協議会 定時総会報告

平成24年6月29日(金) 富山市の名鉄トヤマホテルにて定時総会が行われました。当番会である富山会島田会長の挨拶に続き、中部ブロック協議会滝口会長の挨拶があり開会。議長に富山会島田会長、副議長に三重会神戸会長が選出され議事が始まりました。

主な報告事項として、「筆界特定制度とADR関連等」について石川会の中社会事業部長から、ADRセンター及び認定調査士のこれからについての報告がありました。

続いて審議事項では、23年度決算承認の件、24年度活動方針審議の件、24年度予算審議の件が異議なく可決承認され議事を終了しました。

その後のセレモニーでは、名古屋法務局長表彰を、小松支部の道場昌之会員、金沢支部の宮本久会員がそれぞれ受賞されました。長年の功績を称えられての受賞、本当におめでとうございます。



また、境界標や測量基準点についての自由研究を行った、富山市内の小学3年生本吉凜菜さんに、名古屋法務局長及び日調連会長から感謝状が授与されました。「じめんのボタンのナゾ いちばんえらいボタンをさがせ」と題されたこの作品は、全国小中学生作品コンクールの最高賞である文部科学大臣賞も受賞されています。

最後に名古屋法務局長をはじめ御来賓の方々より御祝辞を頂き、定時総会を終了しました。



結婚おめでとう

私事で大変恐縮ではありますが、結婚の報告をさせていただきます。

昨年の5月28日に婚姻届を提出し、長めの独身生活を卒業しました。一昨年に死去した父に報告できなかったことが悔やまれますが、身内は私がようやく結婚して一安心しているようです。

私たちは入籍、挙式の順と決めていましたので、転居後は8月予定の式の準備にとりかかりました。週末に打ち合わせをしていましたが、時間はあるようでなく、あっという間にお盆になり、特に直前は15日の朝から諏訪湖の花火大会に出かけ16日の夜に帰宅し、17日は一日仕事をして、翌日に式当日となりました。とてもあわただしかった記憶があります。

8月18日、親族を招いて簡素な式を挙げました。天気予報では雨のマークがついていましたが、当日は晴天に恵まれました（妻が雨女で私が晴れ男なのですが、この日は私に軍配があがりました）。残暑の中でしたが、楽しいひと時を過ごすことができました。

ようやく落ち着けるかと思いましたが、式の次は新婚旅行ということで、10月下旬にハワイに行ってきました。出発前は一週間仕事を休むことにとっても不安がありましたので、特に一生懸命仕事をしました。出発前日には「行列ができる無料相談会」に相談員として出席しました。とてもあわただしかった記憶があります。

ハワイでは、とてもリラックスして楽しむことができました。旅行前に妻から「ハワイは暖かいけどホテルや店内は冷房が効きすぎて寒い」と聞き「大げさだな」と思っていたのですが、実際に建物の外は暑く中は寒いのに驚きました。イルカに乗ったことが一番の思い出です。

帰国後はようやく落ち着けるかと思いましたが、一週間の遅れを取り戻すべく、特に一生懸命仕事をしました。とてもあわただしかった記憶があります。

今は本当によりよく落ち着き、通常どおり一生懸命仕事をしております。

最後に、多くの方々に祝福していただきまして、大変感謝しております。ありがとうございました。夫婦で力を合わせ、幸せな家庭を築きたいと思います。これからも、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



金沢支部 中 康光 会員



新入会員に聞く

7項目の質問

- ① なぜ土地家屋調査士になろうと思いましたか？
- ② 前職は何ですか？
- ③ 自分はどのような性格だと思いますか？
- ④ 趣味はなんですか？休日はどのように過ごしますか？
- ⑤ あなたの健康法は何ですか？
- ⑥ 土地家屋調査士として今後の抱負をお願いします。
- ⑦ 調査士会への要望をお書き下さい。



もりた よしお
金沢支部 森田 良雄

- ① 土地家屋調査士業の特異な専門性に興味を持ったこと
- ② 銀行勤務
- ③ 小心者なのにやるのが大胆
- ④ 近年ご無沙汰ですが油絵をまた描きたいですね。
- ⑤ 週2回のジョギング
- ⑥ 不動産に関して総合的な相談業務ができること、外業においてもハイレベルな調査士業務をこなせるようになること
- ⑦ 特にありません。



むらなか ちすこ
金沢支部 村中 千鶴子

- ① 表示登記では、調査士でないと本人申請も難しいと思ったので
- ② 大昔に短期間、銀行員でしたが、その後は、たまにパートに出る程度の、普通の(実際には普通以下の)主婦です。
- ③ わりとケチで、下手な算盤をはじくのですが、計算ミスが多く、結果的に打算のない人と言われてしまうくらい、穴だらけの性格かも
- ④ 趣味らしいものもとっててなく、おまけに毎日が休日のような状態で、逆に「世間の休日」でも、平日と全く変わりません。
- ⑤ たとえ実現しなくても、楽しいことを考えて、いろいろ計画することでしょうか。
- ⑥ 土地家屋調査士の仕事に関する認知度が低く、説明するのに苦労することが多いです。それを組織とかにPRしてくれと頼むよりは、個々の調査士が仕事をするを通して理解してもらえないと思います。自分が仕事をすることで、女性や子供たちにも、身近な職業として感じてもらえればと思います。
- ⑦ 要望できるほど、会について理解していないのですが、会員の負担ができるだけ少ないように知恵を絞って頂きたいです。

新入会員に聞く



金沢支部 ^{かんざ}神佐 ^{よしみ}佳美

- ① 土地家屋調査士のもとで、補助者として業務に携わるにつれ、自分でもやっていきたいと思ったからです。
- ② 補助者です。
- ③ 打たれ弱い、神経質な所がある。
- ④ 趣味は料理・お菓子作り、休日は子供とお出かけします。
- ⑤ 十分な睡眠をとること
- ⑥ 少しでも社会に貢献できるように努力していきたいと思います。
- ⑦ 特にありません



小松支部 ^{こばやし}小林 ^{だいすけ}大祐

- ① 祖父と、父と土地家屋調査士を続けてきており、自分も含めて3代続けることが自分の役目だと感じていたから
- ② 土地家屋調査士事務所補助者
- ③ のんびりした性格
- ④ 週に1回フットサルをすること
- ⑤ 毎朝、青汁を飲むこと
- ⑥ 自分の息子にあこがられるようなカッコイイ土地家屋調査士になろうと思います。
- ⑦ ふらりと立ち寄れるアットホームな調査士会であればと思います。



《金沢支部》

支部長
能登 泰志

今年度行われた金沢支部のレクリエーションと研修活動についてご報告いたします。

平成24年7月27日(金) 毎年恒例の納涼ビアパーティーを北國ビル屋上にて開催いたしました。会員31名、ご家族・補助者25名の合計56名にご参加いただき、今年も盛大に開催することができました。

平成24年10月16日(水) 金石町小学校の6年生を対象とした地上絵プロジェクトを実施しました。なお、子供たちからのお礼のメッセージは本会で閲覧できますし、調査士会のホームページの『支部のページ』に一部掲載してあります。

平成24年10月27日(土) 金沢支部研修会(日帰りバスツアー)を開催いたしました。支部会員23名にご参加いただき、福井県に行ってきました。萬松山の大安禅寺では、新命和尚の法話を聴き、精進料理を頂き、座禅体験をし、東尋坊を散策してきました。自分を見つめ直すよい機会になったと思います。



地上絵プロジェクト

副支部長
橋爪 哲史

去る平成24年10月16日、金沢支部主催(公嘱協会の共催)にて金沢市立金石町小学校の6年生を対象とした地上絵プロジェクトを開催しました。

当日は、強風の中ではありますが晴天の空の下、村谷会長、小橋広報部長、公嘱協会石野業務部長並びに金沢支部役員の合計16名にご協力いただき開催の運びとなり、前回の安宅小学校でのプロジェクト内容と同様でグラウンドに星型を描いてもらうことにしました。

学校側からの要望としては「拡大図と縮図」の授業終了後に実施してほしいとのことでしたので、それに沿った日時調整を行いました。

又、担任先生から「なるべく多くの児童に器械(トランシット)をのぞかせたい」との要望を受けましたので、器械4台、ターゲット3台、調査士スタッフ16名という大掛かりなものとなりました。

なお、当日を迎えるにあたって、児童には単に【グラウンドに星を描いた】で終わることがないように、分度器と定規を使って星型（1/100）を各自描かせることを算数の授業にて事前におこなっていただくよう、調査士の側からも提案させていただきました。

実際の作業は、各クラス1班4～5名の合計10班体制で、星型を描く為に必要な10点を器械係・テープ係・ポール係・ライン引き係にそれぞれ担当させ、最終的に星を完成させるというものです。そして、待ち時間中に最新の測量技術を体験してもらう為、自動視準による測角・測距及びノンプリズムによる測距等を行ったりして児童達が飽きることはないよう配慮した企画内容としました。

その他、ゲームとして「歩測の達人」を実施しました。（これが一番盛り上がっていたかも・・・）これは50cm間隔で引かれたラインをヒントとして調査士側で設定した距離（秘密の距離）を児童達に歩測であててもらえるものです。（ちなみに何人かの調査士スタッフで試したところ正解者は出ませんでしたでしたが児童の中にはピタリ賞もできました。）

タイムスケジュール的に厳しいようにも思われましたが、先生方の迅速な対応等にも助けられ無事時間内に地上絵プロジェクトを成功させる事が出来ました。

最後に、後日、金石町小学校6年1組・2組のみなさんから調査士会にお礼の絵手紙が届いたのですが、一枚一枚が非常に丁寧に描かれており、中には「友達と帰り道に境界プレートを発見しました」とのうれしいメッセージもあったりして、又、調査士の職業について質問されている児童も何人かいました。これを機会に少しでも「調査士という職業に興味を持ってもらえたかも！」と希望を感じる素晴らしい活動となりました。



支部だより

《小松支部》



副支部長
沖田 洋昌

平成24年9月28日金曜日、小松市公会堂において、研修会を行いました。

今年のテーマは、「閉鎖資料調査の必要性について」であり、支部会員20名の出席を得、活発な議論を行うことが出来ました。業務研修委員の皆さんが作成した資料も日頃の業務に活かせるわかりやすいものであり、会員にとって実のある研鑽の場となったのではないかと感じます。今後またこのような地域の慣習をテーマとした研修を行なっていきたいと考えております。

平成24年11月9日金曜日、加賀市片山津の「ビストロ ラ ヴィーヴ」において、支部レクリエーションを開催しました。会員、家族、補助者あわせて45名と、たくさんの出席がありました。ほぼ貸切りの状態で、料理も美味しく、功労のあった方々に花束贈呈を行うというサプライズもあり、大いに盛り上がりしました。

味がわかるのかわからないのか(笑)、ワインばかり注文されたのは誤算でしたが・・・。

研修と同じく、定期的にこのような機会を設けられれば良いと思います。



支部だより

《七尾支部》



支部長
黒崎 秀之

3ヶ年続いた七尾地区14条地図作成作業も、本年度の縦覧も終了し現在、佳境に入っております。会員及び協会社員の慰労を兼ねて、平成24年12月20日午後6時30分より『日本海庄や』七尾駅前店にて忘年会を開催しました。

急な行事にもかかわらず全員参加・・・とはならなかったのですが、私のほか、池上弘士、津田 亨、崎山英治、林 建治、加藤良一、干場隆広、大星雅司、木内良純、橋本仁志、以上会員10名及び、作業の補助員として活躍された桜木、坂本両2名を交えて終始和やかな雰囲気に入れ、参加者の笑顔や元気な様子が会場に満ちあふれ、一層の交友を温め合う結果となり、長かった3ヶ年の思い出話などを語り合う盛大な忘年会となりました。



《輪島支部》

地上絵プロジェクト
実施のご報告支部会員
唐澤 正

「伊能忠敬を知っている人？」の問いかけに「は～い！」と全員が大きな返事。珠洲の飯田小学校では伊能忠敬は子供達の人気者でした。教室での授業や校庭での実習中も子供達が予想以上に積極的に、授業をしているこちらが驚かされました。子供たちは測量というものにとっても興味を持ってくれたようです。

輪島支部の行事として、珠洲市立飯田小学校の6年生児童19名を対象に平成24年9月24日の午後、「地上絵プロジェクト」と称して測量の体験授業を行いました。

当初は昨年小松で行ったように星形を校庭に書くプランを学校側に提案したのですが、校長先生らのご要望により、児童が星形を校庭に書くのではなく、算数の授業内容に合わせて、事前に校庭に書かれた大きな五角形を児童が巻き尺で測り、その成果を元に縮図を作成し、三斜法によって五角形の面積を求めるという授業形式でした。本会広報部の皆様にかんがりのわがまを聞いて頂き、新しく作って頂いた講義資料を私がアレンジしてパワーポイントデータを作成。さらに事前に校庭に五角型を作成のうえ100分の1縮小図を作成、当日を迎えるという段取りでした。

日程調整が困難な状態の中、輪島支部からは私と谷内会員のみ参加という心細い態勢でしたが、当日は本会から村谷会長、小橋広報部長が、公嘱協会からは石野業務部長というそうそうたる方々でご参加いただき、総勢5名という豪華なスタッフにより授業は実施されました。

ところで、小学校の校庭に授業の2日前の土曜日に準備しておいた測量対象の五角形ですが、前日の日曜日から当日の午前中まで続いた雨のため、ラインマーカーで書いた白線が流れて消え、さらに夜の間に校庭に出没したらしいキツネにより五角形の各頂点に設置してあったピンが掘り返されて移動されていました。こんな予想外のハプニングにもかかわらず、皆様のご協力のおかげで無事に現地を復元することができました。また、校庭での測量実習が終了し、教室に戻るやいなや大雨となるなどの幸運にも助けられ、授業を無事に終了することができました。

当日は、石川テレビ様、北國新聞社様、能越ケーブルネット様が取材に来ていただき、田舎の子供たちにとってはこのことも、とても新鮮な体験だったようです。

授業終了後に校長先生から授業についてお礼の言葉をいただいたほか、後日、改めて担任の先生や教頭先生からお礼の言葉をいただきましたことをご報告させていただきます。

お忙しい中、ご協力いただきました支部の皆様、そして本会および公嘱協会の役員の皆様がこの場をお借りして改めて感謝の言葉を申し上げさせていただきます。



会員の広場

クロスワードパズル

に応募しよう!

正解者の中から
抽選で10名の方に、
便利グッズをプレゼント!

第4回

調査士にしが解けない?
クロスワードパズル

作成者 大星 雅司

問題

クロスワードパズルを解いて、2重の
文字をアルファベット順に並べてね。
出てくる言葉は何でしょう?

ヨコのカギ

- 1 だいたい おおよそ
- 3 雨天の現場には用意しないと風邪ひいちゃう
- 6 物事が有るか無いかははっきりしないこと
- 8 伊豆七島で一番小さな島
- 10 春は人事〇〇〇の季節
- 12 「弧」「強」などの漢字の部首は?
- 13 物事の行きつくところ「下衆の〇〇〇」
- 15 地図などに建物外形を落とし込んだ図面
- 16 韓流ブームの火付け役は「〇〇様」
- 17 盲導犬は和製英語で〇〇メイト
- 18 漢字では「踝」足首に突き出した骨
- 19 ガレージ体型の住宅の種類は「居宅・〇〇〇」
- 21 目の下にあるほくろの通称
- 23 ぬかるみの現場にはこれでOK

タテのカギ

- 22 横書き文章なのでこの記号「」の念を抱く
- 20 あやぶみ、おそれること「〇〇〇の念を抱く」
- 19 歯舞諸島で最大の島の名前
- 17 ウェブスターの小説「〇〇〇〇おじさん」
- 14 このアパートは区分建物になりにくい
- 11 通行止めのため〇〇〇ください
- 9 建物図面だつたら普通は500分の1
- 7 つまらないこと ナンセンス
- 5 沿岸部ではこれが貴重な飲料水に
- 4 今年はヘビです。
- 3 我々が使用している設計製図作成ソフト
- 2 漢字で「小火」大事に至らずよかった
- 1 表題登記を申請するところ

応募方法と応募の際の注意点

- ★クロスワードは2重の文字をアルファベット順に並べて、出てくる言葉を解いてください。
 - ★下記の項目を記載し、メール、FAX、葉書にて、2月末日までに事務局まで応募してください。
1. 氏名または事務所名
 2. クロスワードパズルの解答
 3. 応募先: 〒921-8013

石川県金沢市新神田3-9-27

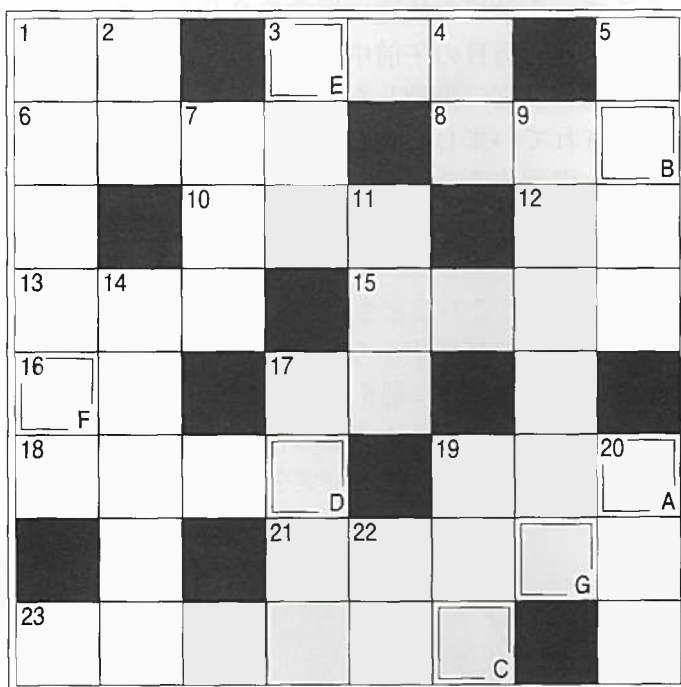
石川県土地家屋調査士会 事務局

E-mail: info@ishicho.or.jp

FAX: 076-291-1371

- ★クイズの正解は応募受付締め切り後、ホームページに掲載します。(3月頃)
- ★抽選の結果は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- ★景品の内容と当選者の数については、応募者数の関係でそれぞれ変更する場合があります。

たくさんのご応募お待ちしております!



答え

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

Information・事務局

新 人 会 員



氏 名 もりた よしお 森田 良雄
 登録番号 第647号
 事 務 所 〒929-0341
 河北郡津幡町
 字横浜へ28番地6
 (事)TEL 076-288-3112
 (事)FAX 076-216-8009
 登録年月日 平成24年4月2日



氏 名 むらなか ちずこ 村中 千鶴子
 登録番号 第648号
 事 務 所 〒921-8044
 金沢市米泉町8丁目
 70番地1
 (事)TEL 076-241-5304
 (事)FAX 076-241-5304
 登録年月日 平成24年5月1日



氏 名 かんの よしみ 神佐 佳美
 登録番号 第649号
 事 務 所 〒921-8034
 金沢市泉野町4丁目
 11番19号
 (事)TEL 076-280-2912
 (事)FAX 076-280-2913
 登録年月日 平成25年1月10日



氏 名 こばやし だいすけ 小林 大祐
 登録番号 第650号
 事 務 所 〒923-0915
 小松市細工町53番地1
 (事)TEL 0761-23-1421
 (事)FAX 0761-23-1435
 登録年月日 平成25年1月10日

法 人 名 土地家屋調査士法人 大星事務所
 法人番号 22-0002
 事 務 所 〒926-0805
 七尾市亀山町15番地
 (事)TEL 0767-53-2208
 (事)FAX 0767-52-1311
 成立年月日 平成24年2月20日
 社 員 大星 雅司(代)(第619号)
 大星 正嗣 (第448号)

登録事項変更

氏 名 家本 義明
 登録番号 第631号
 事 務 所 〒924-0875
 白山市辰巳町161番地 センターリバービル2F
 (事)TEL 076-287-6203
 (事)FAX 076-287-6253
 変更年月日 平成24年4月2日

氏 名 林 祐一
 登録番号 第589号
 事 務 所 〒920-0854
 金沢市安江町11番13号
 (事)TEL 076-222-3002
 (事)FAX 076-222-3012
 変更年月日 平成24年6月11日

事務局からのお願い

年計表の提出をお早めに!!

平成24年分の事件年計表を平成25年1月31日
 (木)までに本会事務局へ提出してください。

● 図書蔵書一覧表 ●

石川県土地家屋調査士会

	図 書 名	著 者・発 行
498	三重県の地籍I 三重県における公図の源泉	三重県土地家屋調査士会
499	制度制定60周年記念誌	神奈川県土地家屋調査士会
500	第7回土地家屋調査士特別研修 基礎研修スライド	日本土地家屋調査士連合会
501	あいちの地籍	愛知県土地家屋調査士会
502	土地台帳付属地図と地図に準ずる図面の実証的研究(第2集) (福井県下に於ける付属地図のルーツを尋ねて)	福井県土地家屋調査士会公図研究委員会
503	3.11大震災の記録ー中央省庁・被災自治体・各士業等の対応ー	民事法研究会
504	じめんのボタンのナゾ いちばんえらいボタンをさがせ	にな川小学校 2年2組 本吉凜菜

会費の納入について(お願い)

日頃、会の運営につきましては格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成24年度第4期分会費につきまして、下記の期日までに納入下さいますようお願い申し上げます。

なお、自動引落を希望されている方は、1月31日(木)に引き落としされますので、預金残高のご確認をお願いいたします。

- ◆会 費 金 45,000円(15,000円/月) (但し、平成25年1月～3月分)
- ◆納入期日 平成25年1月31日(木)まで
- ◆納入方法
 - ①北國銀行の預金口座自動引落 (手数料は調査士会で負担)
 - ②調査士会の口座に振込(手数料は個人負担)
 - 【振込先】北國銀行 金沢西部支店
普通預金 331160
石川県土地家屋調査士会 会長 村谷正己
 - ③事務局へ持参

編集後記

2012年を表す漢字は「金」でした。

ロンドンオリンピックでの過去最多のメダルラッシュ、山中教授のノーベル賞受賞などの多くの金字塔が打ち立てられたことや、金環日食は日本中の話題になりました。また、消費増税問題や生活保護などの金に関わる問題がありました。

2013年国民が新政権に期待する政策も円高対策、株価対策、景気対策などの金にまつわる政策がランキング上位に入っているそうです。

金のことを考えなくてもよい世の中になってほしいものです。

(広報部長)

トータルステーションの 遥かな極みへ

SX Series

Superior X-ellence Station

新登場

- 厳しい環境にも強い自動追尾性能
- LongRange データコミュニケーション
- リモートコントロールシステム RC-PR5
- 素早くパワフルな RED-tech EDM
- 信頼の測角システム
- 優れた耐環境性能と操作性を両立



あなたのTSを守る
新しいソリューション
TSshield

世界初!

多機能サポートシステム

CTS
Construction
Total
Support service

株式会社 シーティーエス

■ 北陸支店 〒939-8046 富山県富山市本郷新7-1
TEL: 076-494-1300 FAX: 076-494-1301

測量機・試験機・気象器械・事務機・OA機器



株式会社

金沢測機

〒920-0058 石川県金沢市示野中町1-29
TEL: 076-222-8787 FAX: 076-221-3773

株式会社 **トプコンソキア ポジショニングジャパン**

東京都板橋区小豆沢1-5-2 〒174-0051 TEL.03-5915-6562 FAX.03-5915-6658

ソキアブランド測量機器コールセンター ☎ 0120-78-4100 (フリーダイヤル)

SOKKIA

あなたの望み...現場の全てをイメージに残す

Leica Viva TS11/TS15へようこそ! これ以上の判りやすさは望めないでしょう

イメージ機能を搭載した
Leica Viva TS11/TS15は
測量作業から成果品までの生産性を更に高い
次元に引き上げます。
これこそ、あなたの将来ビジョンです。

Leicaスマート
ステーションの
インターフェース



USBメモリー、
SDカード、
Bluetooth



SmartWorx Vivaの
簡単かつ効率的な
ソフトウェア



5メガピクセルの
デジタルカメラを内蔵



お問合せは下記へ

株式会社 測機サービス

金沢市笠舞本町2-3-3

TEL 076-222-7044

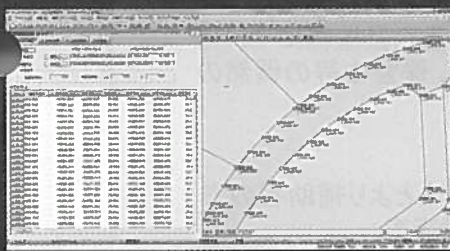
フィールドデザインで日本の未来を創る 測量計算CADシステム「BLUETREND XA」

BLUETREND XA 2013 NEW!

測量計算CADシステム【ブルートレンド エグザ】

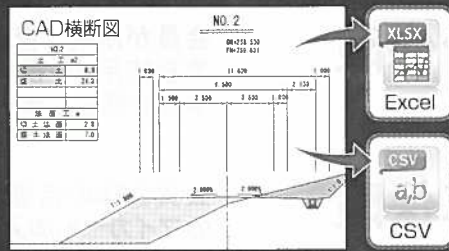
「測地成果2011」に完全対応、 震災復興業務を効率化!

国土地理院提供のPatchJGD準拠の座標補正変換プログラムでPatchJGDを介さず効率的に座標補正変換。座標補正点検計算で変換後の座標値・面積も精度管理できるほか、座標補正前後がひと目で分かる座標ベクトル図や法務局提供の地図XML取込み等々、多彩な新機能で震災復興業務を大幅に効率化します。



CAD機能の大幅強化で 作業効率を向上!

横断面図を内部的に数値化し、土量計算や集計結果をワンタッチでExcel・CSV出力。現況・計画平面図の法面作図での法面自動作図や自作特殊線が繰り返し使えるカスタマイズ機能、また点番入力で座標を自動結線機能等々、CAD機能を大幅に強化しました。またラスターデータを配置した図面の描画速度を500%高速化しました。



Google Earth™へ図面配置し 画期的なプレゼンを実現!

Google Earth連携機能により、道路計画や災害復旧計画、用地取得状態や宅地造成計画の図面をGoogle Earth上に簡単に配置でき、Google Earth環境があれば、リアルで分かりやすいビジュアルプレゼンをどこでも手軽に行えます。これらの他、「BLUETREND XA 2013」は全100項目余の機能強化を図っています。



各種データを一元管理。調査士業務全般をワンパッケージでサポート。

TREND REG/C
2013

土地家屋調査士事務支援システム【トレンドレジック】

不動産表示登記業務に必要な各種書類の作成(登記申請書・委任状・筆界確認書等)およびオンライン申請から、事件管理・顧客管理に至るまで、調査士業務の飛躍的な効率化と省力化をワンパッケージでサポートする「土地家屋調査士」専用のアプリケーションです。

●Windows 7上で動作するWindows XP Modeでの動作保証はしておりません。●Windows 7 64bit版上で動作させる場合、64bitネイティブアプリケーションとしてではなく、32bitアプリケーションとして動作しますのでご注意ください。

福井コンピュータ株式会社

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌 青森 盛岡 仙台 郡山 水戸 宇都宮 高崎 新潟 長野 埼玉 千葉 東京 立川 横浜 静岡 名古屋 岐阜 福井 京都 大阪 神戸 岡山 高松 松山 広島 山口 福岡 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

●製品に関するお問い合わせ

0570-550-291

●製品の詳しい情報、カタログのご請求は

福井コンピュータ

www.fukuicompu.co.jp

検索

日本土地家屋調査士会連合会共済会取扱

損害保険ご紹介

数々の危険からあなたをお守りしたい
桐栄サービスの願いです

職業賠償責任保険

会員または補助者が業務遂行にあたり法律上の賠償責任を負い、損害賠償金を支払わなくてはならないときに役立ちます。

団体所得補償保険

保険期間中に病気・ケガによって就業不能となった場合、1か月につき補償額をお支払いする制度です。(最長1年間)

団体傷害疾病保険

保険期間中、国内外を問わず
1) 日常生活におけるさまざまな事故によるケガを補償します。
2) 病気による入院を日帰り入院より補償します。

測量機器総合保険

会員が所有し管理する測量機器について業務使用中、携行中、保管中等の偶然的事故を補償します。

集団扱自動車保険

会員皆様の自動車はもとより補助者の方のマイカーも加入できます。

損害保険代理店 有限会社 桐栄サービス

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-2-10 土地家屋調査士会館6階

TEL : 03-5282-5166

FAX : 03-5282-5167

上記のものは各種保険の概要をご説明したものです。詳細は弊社までお問合わせをお願い致します。

会報 いしかわ 第159号

発行所 石川県土地家屋調査士会
金沢市新神田3丁目9番27号
TEL 076-291-1020
FAX 076-291-1371
<http://www.ishicho.or.jp/>
E-mail: info@ishicho.or.jp

編集 広報部

発行日 平成25年1月

印刷所 株式会社 高松印刷

不動産表題登記の専門家

「とちかおくちょうさし」

境界トラブルの解決支援いたします

境界くい
ちゃんと
ありますか？

広告キャラクター
「地識くん」

土地家屋調査士は、土地を識り、人と社会のために
つくす「知識人」でありたいと思います。

- 土地をかう
土地の境界線を公正な立場で確認のうえ境界標識を設置し、
土地境界確認書を作成します。
- 建物を建てる
境界立会いや敷地に関する調査・諸手続のお手伝いをします。
- 登記の申請
調査および測量の結果をもとに土地や建物の登記を申請します。

境界問題相談センターいしかわ

「境界問題相談センターいしかわ」は、専門家による民間型の裁判外
境界紛争解決機関です。土地家屋調査士と弁護士が、紛争当事者の
間に立ち、専門家の立場から問題の調査・整理をし、お互いに納得の
いく形で解決を目指します。



石川県土地家屋調査士会

〒921-8013 石川県金沢市新神田3丁目9番27号
TEL.076-291-1020 FAX.076-291-1371
<http://www.ishicho.or.jp/>



かいけつサポート
認証紛争解決サービス

「かいけつサポート」は法務大臣による
紛争解決手続きの認証制度です。
(平成23年11月9日認証番号 第107号)

TEL.076(291)1125

相談日は毎月第3木曜日(要予約)

受付時間
10時～16時